

回収：キューピーが48万点 ファミマサラダなど3商品、異物混入疑い

2013.10.04 東京朝刊 30頁 社会面 (全477字)

キューピーは3日、子会社「コープ食品」の九州工場（熊本市）で製造したサラダなど3商品に、金属片やゴム片が混入した可能性があるとして計約48万点の回収を始めたと発表した。コンビニ大手ファミリーマートのプライベートブランド（ＰＢ）2商品が含まれている。

ファミリーマートのＰＢ商品で回収対象となるのは、賞味期限が10月2日～11月14日の「ファミリーマートコレクション ごぼうサラダ」80グラム入り約19万点と、「同 かぼちゃサラダ」80グラム入り約11万点。ごぼうサラダは全国で、かぼちゃサラダは沖縄県を除く全国で販売している。

キューピーが販売した商品では、賞味期限が2014年9月7日以前の「サラダクラブ ピクルス（ガーキン）」の40グラム入り対象。約18万点出荷し、全国の小売店で扱った。

9月30日、ファミリーマートの東京都内の店舗が顧客から異物混入の連絡を受け、調査を開始。工場を調べた結果、袋詰めする機械が破損していたことが判明した。**キューピー**は「ご迷惑をおかけしておわびします」としている。問い合わせはお客様相談室0120・141122。

毎日新聞



© 2011 THE MAINICHI NEWS
ALL RIGHTS RESERVED, COI